

# 世界を代表する振付家オハッド・ナハリンの名作 『Decadance』を貞松・浜田バレエ団が日本初上演



ナハリンの作品をレパートリーとして持ち、日本国内で唯一上演できるバレエ団

神戸を拠点に活動する貞松・浜田バレエ団は、2026年3月20日（金・祝）、21日（土）に兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール、3月29日（日）彩の国さいたま芸術劇場大ホールにて、ニューヨーク・タイムズも「世界で最も重要な振付家の一人」と評する振付家オハッド・ナハリンの代表作『Decadance』を上演いたします。

本公演は、貞松・浜田バレエ団が1980年から続けているコンテンポラリーバレエ公演シリーズ「創作リサイタル」の企画によるもので、世界で活躍する振付家の作品を上演し、日本バレエ界のコンテンポラリーバレエシーンを牽引する注目の公演です。これまでに、ネザールランド・ダンス・シアターの芸術監督を長年務め、世界的なカンパニーへと押し上げた、チェコ出身のバレエ振付家、イリ・キリアン作品、2024年パリ・パラリンピック開会式の演出・振付監督を務め、

2025年に東京で上演された、6万球の緑の雨が降るパリ・オペラ座の話題作『PLAY』でも記憶に新しい、スウェーデン出身の振付家アレクサンダー・エクマンの作品など、世界屈指の振付家達の作品を多数上演してきました。37回目となる今回の「創作リサイタル」では、マーサ・グラハムやモーリス・ベジャールに学び、バットシェバ舞踊団を長年率いてきた、オハッド・ナハリンの代表作『Decadance』を上演いたします。当バレエ団は、過去にもナハリン作品の「DANCE」（2005年）や「BLACK MILK」（2006年）、「Kamuyot」（2023年）を上演しており、日本で唯一、ナハリン作品をレパートリーとして上演できるバレエ団です。

## ナハリンと当バレエ団の信頼によって実現した新たな『Decadance』が誕生

『Decadance』は、オハッド・ナハリンがこれまでに発表してきた複数の作品の名場面を再構成した作品です。本作品は2000年に創作され、パリ・オペラ座をはじめ世界有数のバレエ団やダンスフェスティバルで発表されており、常に更新され続ける「生きた作品」として、ナハリン自身が公演ごとに再構築しています。本公演では、『Minus 16 (マイナス16)』など代表作のエッセンスを集結し、当バレエ団ならではの身体性と表現による新たな『Decadance』をお届けします。

世界で最も注目される振付家の一人、オハッド・ナハリンによる「Gaga」メソッドは、決まった動きに縛られず身体の内側から湧き上がる感覚を表現する独自の手法。「Gaga」メソッドを基盤に創作された「Decadance」は力強さと繊細さが共存する動きと、瞬間ごとに生まれる即興のような表現によって、観る者の心を揺さぶる唯一無二の舞台体験となっています。

チケット好評発売中。この機会に是非、ご取材・紹介の検討をよろしくお願いたします。

**お問い合わせ** バレエ団、もしくは堤 悠輔(バレエ団総監督)への個別取材も受け付けております

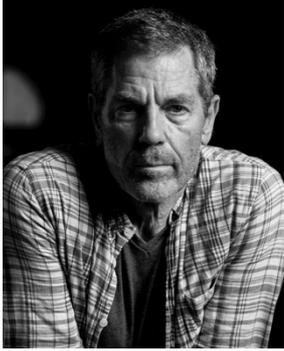
(一社)貞松・浜田バレエ団 担当：松井雅子

TEL：078-861-2609(平日10:00~17:00) Mail：[production@shballet.or.jp](mailto:production@shballet.or.jp)

広報担当：小泉智子 Mail：[tmkkoizumi@gmail.com](mailto:tmkkoizumi@gmail.com)

## 【Ohad Naharin/プロフィール】

Photo by Ilya Melnikov



オハッド・ナハリンは振付家であり、「Gaga(ガガ)」というムーブメント・ランゲージ(動きの言語)の創始者です。1952年にイスラエルのミズラで生まれ、1974年にバットシェバ舞踊団でダンスのキャリアをスタートさせました。1980年にはニューヨークで振付家としてデビューし、1990年にはバットシェバ舞踊団の芸術監督に就任。同時にジュニア部門「バットシェバ・ヤング・アンサンブル」も設立しました。ナハリンはこれまでに、バットシェバの両団体のために30作以上の作品を創作し、ネザーランド・ダンス・シアター(NDT)、パリ・オペラ座バレエ団、モントリオールのグラン・バレエ・カナディアンなど、著名なカンパニーにも作品を提供しています。バットシェバの芸術監督を約30年間務めた後、ナハリンは2018年にその役職を退きましたが、現在もハウス・コレオグラファー(常任振付家)として活動を続けています。

## 【公演概要】

※広報用画像はこちらのリンクよりダウンロードください。

ご使用の際は、クレジットも必ず記載ください。

リンク：<https://x.gd/vS4oq>

### ●スタッフ

[ 振付 ] オハッド・ナハリン

[ 照明デザイン ] アヴィ ヨナ バンビ エノ

[ 衣装デザイン ] ラケフェト レヴィ

[ 音響デザイン ] ダビッド ベル

[ 振付指導 ] ハニ・シルケス / ブレット・イースタリング

[ バレエミストレス ] 小西康子 / 上村未香

[ 舞台監督 ] 坪崎和司((有)ステージ・ハンド)

[ 照明 ] 加藤美奈子(ライティング・セブン)

[ 音響 ] 津田和志(神戸国際ステージサービス(株))

[ 衣装 ] 木下正子

[ 衣装スタッフ ] 堀部富子 / 松良朋子

[ 総監督 ] 堤 悠輔

Photo Maxim Waratt Image\_Courtesy of Batsheva Dance Company



Photo Maxim Waratt Image\_Courtesy of Batsheva Dance Company



Photo Maxim Waratt Image\_Courtesy of Batsheva Dance Company



Photo Maxim Waratt Image\_Courtesy of Batsheva Dance Company



Photo Ascaf image courtesy of Batsheva Dance Company





\*公演写真はバッドシェバ舞踊団からの提供による参考画像です

## ●関西公演 <https://sadamatsu-hamada.fem.jp/decadance/>

2026年3月20日(金・祝)・21日(土)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール (兵庫県西宮市高松町 2-22)

開場：14:15 開演：15:00(上演時間 65分/途中休憩なし)

料金：A席 5,000円 B席 4,000円 学生席 2,000円

主催：(一社)貞松・浜田バレエ団

共催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

後援：神戸市、(一社)日本バレエ団連盟、(公財)兵庫県芸術文化協会、(公財)神戸市民文化振興財団、(一財)兵庫県学校厚生会、ひょうご芸術文化センター、(公社)日本バレエ協会、(株)神戸新聞社、(株)サンテレビジョン、兵庫県洋舞家協会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

| 独立行政法人日本芸術文化振興会

## ●関東公演 [https://sadamatsu-hamada.fem.jp/decadance\\_saitama/](https://sadamatsu-hamada.fem.jp/decadance_saitama/)

2026年3月29日(日)

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール (埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1)

開場：13:30 開演：14:00(上演時間 65分/途中休憩なし)

料金：S席 5,000円 A席 4,000円 U-25 2,500円

主催：(一社)貞松・浜田バレエ団

提携：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団(彩の国さいたま芸術劇場)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

| 独立行政法人日本芸術文化振興会

### [チケット取扱い] 好評発売中

#### 両公演ともに

・(一社) 貞松・浜田バレエ団

貞松・浜田バレエ団オンラインチケット(24時間) <https://p-ticket.jp/shballet>

TEL 078-861-2609(平日 10:00-17:00)

#### 関西公演

・兵庫県立芸術文化センター

芸術文化センターチケットオフィス

インターネット予約(24時間受付) <https://www1.gcenter-hyogo.jp>

TEL 0798-68-0255 /10:00-17:00/月曜休み(祝日の場合は翌日)

#### 関東公演

・彩の国さいたま芸術劇場

SAF オンラインチケット <https://www.saf.or.jp/t/>

TEL 0570-064-939(休館日を除く 10:00-18:00)

彩の国さいたま芸術劇場・埼玉会館 窓口 (休館日を除く 10:00-

## 【(一社)貞松・浜田バレエ団 概要】



1965年3月創設。神戸を拠点とするバレエ団。創設当初より、クラシックバレエを基本に、古典バレエと現代作品を活動の両輪に公演活動を行う。バレエの普及活動にも力を入れ、学校公演は700回を超える。子供から大人まで幅広くバレエを楽しめるプログラムを上演する。文化庁芸術祭大賞、神戸市政功労者表彰など数々の賞を受賞。現在団員は約50名。

ウェブサイト：<https://sadamatsu-hamada.fem.jp/>

所在地：〒657-0822 兵庫県神戸市灘区畑原通 3-6-6

★次回公演：8月1日・2日「バレエ・ドラゴンクエスト」  
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

## 【創作リサイタルの軌跡 主な振付家について】(バレエ団初演)

ジョージ・バランシン / 「アレグロ・ブリランテ(1993)」 「セレナーデ(2008)」  
「ワルプルギスの夜(2024)」

ティエリー・マランダイン / 「キエロ(2004)」

オハッド・ナハリン / 「DANCE(2005)」 「BLACK MILK(2006)」 「Kamuyot(2023)」

イリ・キリアン / 「6 DANCES(2009)」 「Petite Mort(2014)」 「Falling Angels(2017)」

アレクサンダー・エクマン / 「CACTI(2020)」

カイェターノ・ソト / 「Malasangre(2022)」

## バレエ団総監督 堤悠輔 プロフィール



5歳より貞松・浜田バレエ団にてバレエを始める。17歳でRoyal Ballet School of Antwerp(ベルギー)に短期留学。これをきっかけに翌年より同校に2年留学。アナトール・カプチンに師事。ケネス・マクミラン、ティエリー・マランダイン等の作品にてソロに選抜され踊る。2002年INTRODANS(オランダ)と契約。イリ・キリアン、マッツ・エック、ハンス・ヴァン・マーネン、デビッド・パーソンズ、ロバート・バトルの作品等を踊り、20カ国以上のツアーに参加。

2007年 金森穰率いるNoism(新潟市民芸術文化会館専属舞踊団)と契約。元フォーサイスカンパニー所属、安藤洋子作品に出演。2008年 貞松・浜田バレエ団に入団。イリ・キリアン、オハッド・ナハリン、稲尾芳文、森優貴の作品等に出演。2009年「創作リサイタル21」以降、本公演を含む創作リサイタルのプロデュースを手がける。2017年4月より総監督に就任。同年、第5回 芸術文化団体半どんの会 文化賞を受賞。2025年 神戸市文化奨励賞 受賞。

お問合せ バレエ団、もしくは堤 悠輔(バレエ団総監督)への個別取材も受け付けております

(一社)貞松・浜田バレエ団 担当：松井雅子

TEL：078-861-2609(平日10:00～17:00) Mail：[production@shballet.or.jp](mailto:production@shballet.or.jp)

広報担当：小泉智子 Mail：[tmkkoizumi@gmail.com](mailto:tmkkoizumi@gmail.com)